



## お客様の大切な財産を守る 新たな製品を創造



私たちの想い

高周波技術を使用した製品で電気火災の未然防止に貢献し、お客様に安心を届けます。

電子機器開発部 開発グループ | 伊藤 宏泰

家屋内の配線で発生するケーブルの断線・ショートや、コンセント部で発生するトラッキング現象※などにより火花放電が発生し、放置すると電気火災につながります。放電検出ユニット「スパークテクト」は、これらの要因で発生する火花放電のノイズを検出し、電気火災の未然防止に有効です。

※トラッキング現象：コンセントにホコリが溜まり、そのホコリが空気中の湿気を吸収することで、プラグとコンセントの間で火花放電を繰り返し、発火する現象。



JECA FAIR  
2019  
製品コンクール  
経済産業大臣賞



ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)  
2020  
最優秀賞



## 潜在的な課題やニーズを発掘し、 社会に必要とされる製品開発

わたしたち開発部門は、「お客様へ提供できるモノは何なのか?」「本当にお客様が求めているコトは何なのか?」、原点を見つめなおし、顕在化されているものだけでなく、潜在的な課題やニーズを発掘していきます。「日東工業の商品を使って良かった」とお客様にご満足いただけるよう、社会の持続的発展に貢献できる製品開発にチャレンジします。



開発本部長 箕浦 浩

2019  
年度  
実績

- スタートアップ企業との協業
- 自由でクリエイティブな活動ができる環境を構築
- グリーンフィット5件、グリーンサポート3件

2020  
年度  
目標

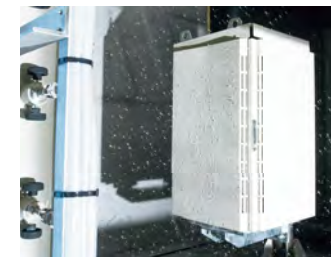
- 意識改革(自由でクリエイティブな開発環境)
- 開発戦力としての人材育成
- 環境に配慮した製品開発体制の継続

## 〈業界初〉屋外キャビネットの 風雨性能評価基準を制定

近年、集中豪雨や大型台風による自然災害が多発しています。屋外に設置されるキャビネットは風と雨を同時に強く受けるため、過酷な自然環境にも耐える性能を要求されることが増えてきています。そこで、一般財団法人建材試験センターと国立研究開発法人防災科学技術研究所のご協力をいただき、JSTM W 6401「キャビネット及び宅配ボックスの水漏れ試験方法(送風散水試験法)」に基づく屋外キャビネットの風雨性能評価基準(WPコード※)を制定しました。

対応製品にはWPコードを表示することで、さらに電気と情報通信のインフラをサポートしていきます。

※Weather Protection



▶ 風雨性能評価試験

## 付加価値の高いモノづくりの 実証研究

愛知県豊田市にある『知の拠点あいち 新エネルギー実証研究エリア』にて、独立電源システムを使用した防災システムの検討や設置環境をリアルタイムで把握できる監視カメラ・環境センサーの設置・運用について実証研究を行っています。



▶ 知の拠点あいち 新エネルギー実証研究エリア

## 環境配慮設計

製品開発時に、省エネルギー、小型化、軽量化、リサイクル性や含有化学物質などの環境影響について評価しており、環境負荷を低減する「環境にやさしい製品開発」を進めています。



2019年度認定製品  
当社の環境基準を達成した製品を「グリーンフィット」に認定しています。「グリーンフィット」は、製品の小型化、軽量化、省資源、リサイクル可能率の向上、環境汚染物質の撤廃などをテーマとして環境負荷の低減を実現した製品です。



2019年度認定製品  
地球環境を配慮した事業を支援する製品を「グリーンサポート」に認定しています。「グリーンサポート」は環境事業をテーマとして環境負荷の低減を支援する製品です。

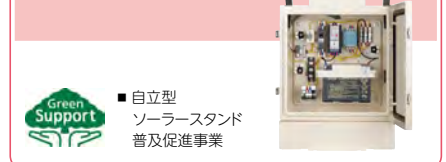
放電検出ユニット



屋外天井取付型ファン



独立電源盤  
(可搬型鉛蓄電池搭載タイプ)



■ 自立型  
ソーラースタンド  
普及促進事業